

日本小児歯科学会九州地方会副会長挨拶

創立30周年に寄せて

日本小児歯科九州地方会 副会長

九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野 教授 牧 憲 司



日本小児歯科学会九州地方会設立30周年を迎え、心よりお祝申し上げます。毎年行われる地方会の大会の内容が、年々充実したものになっているのは、各大会会長を初めとした関係各位の並々ならぬ御尽力の賜物だと思います。九州の地における本学会の意義は益々重要になってくることを確信しております。

平成21年、第27回九州地方会大会を私が大会長として、「子どもたちの健全な歯列育成を目指して」のテーマで九州歯科大学にて開催いたしました。素晴らしい臨床家の先生方に特別講演やテーブルセミナーなどで集まっていただき、多数の参加者のもと活発な討論があり活気溢れる大会となりました。改めて関係各位に御礼を申し上げます。来年も九州歯科大学が担当校ですので内容の濃い企画をしたいと考えております。宜しく願いいたします。

九州地方会に参加する先生方と大会での学術交流を深めていくことが最大の目的ですが、また大会の際に行われる懇親会で多くの先生方と臨床、研究、教育などについてざっくばらんに会話できるのも大きい楽しみの一つですし、長崎や鹿児島、沖縄など風光明媚の地で学会をたびたび開催できるのも九州地方会ならではのようです。

少子高齢化社会の到来とともに、小児歯科を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっております。変革の中にある大学における小児歯科の立場も微妙であります。しかしながら「小児～成人～高齢者」縦割りの中での小児歯科の重要性は、何ら変わることはないと思います。大学人としてノイエスのある研究を心掛け、臨床に常にフィードバックできるよう努めていきたいと考えておりますし、開業医の先生方と、より深い絆を構築していけるように日頃から交流を持ちたいと思っておりますので、今後とも宜しく願いいたします。